

平成4～8年度

地球環境リモートセンシング研究グループ

教授 高木 幹 夫 (代表者), 村 井 俊 治, 虫 明 功 臣, 坂 内 正 夫
 客員教授 M.A.H.プラマニク, E.O.ボックス
 助教授 喜 連 川 優, 柴 崎 亮 介, A.S.ヘーラト, D.G.ダイ
 講 師 (横浜国大) 本 多 嘉 明
 助 手 (特別研究員) 沖 大 幹, 高 木 方 隆
 (グループのメンバー名、職名は平成7年当時)

「地球環境リモートセンシング研究グループ」はグローバルな視点から地球環境工学に関する共同研究を行うことを目指して平成4年度に発足した。地球環境問題が大陸レベル、全地球レベルでの広大な範囲を対象としていることから、人工衛星を利用したリモートセンシングによる広域環境計測手法を中心に地球環境の評価、モニタリング手法を開発することを目的とした。生態学、水文学、情報学の各分野からの研究者がそれぞれの個別分野において研究に取り組むと同時に、その知見を総合化することにより共同研究を行った。研究の成果は、各年度に5回程度ずつ開催した研究会において、さらに年2回開催した生研フォーラム「宇宙からの地球環境モニタリング」において発表すると共に、本グループ以外の研究者との積極的な意見交換、討論を行った。なお、本研究グループは高木幹夫教授の退官にともない発展的に改組し、平成9年度より、新たに「地球環境工学研究グループ」として虫明功臣教授の代表

のもとに引き継がれている。また、これら研究グループの活動成果の一つとして未来開拓学術研究推進事業「環境負荷の影響評価と低減—サブテーマ—水・物質バランスの時空間変化に着目した人間活動の環境影響評価とその軽減方策に関するシステム的研究」が開始された。なお、「地球環境システム工学研究グループ」のメンバーは以下の通りである。

地球環境システム工学研究グループ (平成9年度～)

教授 虫明功臣 (代表者)・村井俊治・坂内正夫
 ・ 安岡善文・喜連川優・柴崎亮介
 A.S.ヘーラト
 助教授 沖 大幹
 講 師 徳永光晴
 助 手 越智史郎・仲江川敏之・根本利弘